

6学年 理科 授業計画

広島市立 石内小学校

◆ 教科の目標

(1) 燃焼、水溶液、てこ及び電気による現象についての要因や規則性を推論しながら調べ、見いだした問題を計画的に追及したりものづくりをしたりする活動を通して、物の性質や規則性についての味方や考え方を養う。
 (2) 生物の体のつくりと働き、生物と環境、土地のつくりと変化の様子、月と太陽の関係を推論しながら調べ、見いだした問題を計画的に追及する活動を通して、生命を尊重する態度を育てるとともに、生物の体の働き、生物と環境とのかかわり、土地のつくりと変化のきまり、月の位置や特徴についての見方や考え方を養う。

◆ 評価の観点

- ・自然の事物・現象を意欲的に追求し、生命を尊重するとともに、見いだしたきまりを生活に当てはめてみようとする。
- ・自然の事物・現象の変化とその要因との関係に問題を見だし、推論しながら追求し、規則性や相互関係について考察し表現して問題を解決している。
- ・問題解決に適した方法を工夫し、装置を組み立てたり使ったりして観察、実験やものづくりを行い、その過程や結果を的確に記録している。
- ・燃焼、水溶液の性質、てこの規則性及び電気による現象や、生物の体の動き、生物と環境とのかかわり、土地のつくりと変化のきまり、月の位置や特徴などについて実感をとまなげて理解している。

◆ 評価の方法

学習態度 実験態度 発言 発表 ノート テスト

◆ 学期ごとの学習内容と学習のポイント

	学習活動	学習のポイント
前期	○ ものが燃えるとき	・物を燃やす実験を通して、空気を構成する気体の性質を調べ、酸素に燃やすはたらきがあることを知る。
	○ 人の体のつくりと はたらき	・食べ物、口、胃、腸などを通る間に消化、吸収され、吸収されなかったものは排出されること知る。 ・人や動物の呼吸では、酸素を取り入れ二酸化炭素を出していることを知る。
	○ 植物の体のつくりとはたらき	・植物の根、茎、葉には水の通り道があり、葉から蒸散していることを知る。 ・植物の葉に日光が当たるとでんぷんができることを知る。
	○ つりあいとてこ	・左右に物を下げたときに、つりあう規則性について考える。 ・てこを使うと重いものも小さい力で持ち上げられることを知り、身のまわりの道具でてこの原理を利用している物を探す。
	○ 土地のつくりと変化	・地層について知り、地層のでき方について考える。 ・火山活動や地震について調べ、土地は大きく変化することを知り、自然の力の大きさを実感する。
後期	○ 水よう液の性質	・水溶液の性質の違いについて知る。 ・水溶液には、酸性、アルカリ性および中性のものがあることを知る。 ・水溶液には、金属の性質を変化させる物があることを知る。
	○ 月と太陽	・月の形の見え方を太陽との位置関係から理解したり、月と太陽について調べ、表面の違いを理解する。
	○ 電流による発熱	・電熱線に電流を流して発熱の様子を調べ、電熱線は太さによって発熱の程度が違うことを理解する。
	○ 電気の利用	・電気は発電機でつくったりコンデンサー等に蓄えられたりすることを知る。 ・電気は光、音、回転する動き、熱に変換できることやつなぐ器具によって電流の強さが変わることを知る。 ・日常生活の中で電気の性質やはたらきを利用している道具を探す。
	○ 生き物と環境	・空気、食べ物、水と生き物との関係を考え、深い関わりがあることを知る。 ・これまでの学習を振り返り、人と環境を空気、水、生き物との関わりでとらえ、人、動物、植物をとりまく自然環境を広い視野から考えていく。